

特選

選者 西田 拓郎

ゆかたをねきればわたしもおひめさま 大垣市 うしだ ほのか(五才)

一緒に盆踊りに行くために家族の方がとてもかわいらしい浴衣を作ってくださったんですね。ほのかさんも大喜び、お姫様になったような気分になったんですね。ほのかさんばかりでなく、それを見た家族の方もとてもうれしかったはずです。みんなで一緒に手をつないで行った盆踊りは一生忘れられないでしょう。幸せな家族の姿が見えてきます。季語は「ゆかた(浴衣)です。」

かぶとむしよるになつたらうごきだす 大垣市 川上 浩輝(小二)

子どもにとつてかぶと虫は人気者。昼間は仲良く遊んでくれますが、実は夜行性なのです。みんなが寝静まった頃に本格的に活動開始なのです。かぶとの中でかごと力強く動いています。夜中にふと目を覚ました浩輝さんはそれに気付いたのですね。その発見を見逃さず、よく俳句にしました。浩輝さんはきつとかぶと虫が大好きなのでしょう。残りわずかの夏。かわいがつてくださいね。

入道雲 どん どん どん ふえていく 大垣市 川瀬 大志(小五)

海から青空に向かつて、もくもくと立ち上がる壮大な入道雲。どんどん増えていくようで、その輝く白さは空の青に映え見事です。その様子を「どん どん どん(ふえて)」という単純な擬態語の繰り返しで表現したのですね。五・八・五になると通常はリズムが崩れて良くないのですが、この句の場合はそれを感じさせません。夏の情景をうまくとらえていますね。季語は「入道雲(にゅうどうぐも)」です。

秀逸

カブトムシつのの大きさをくらべあう 大垣市 立神 花芽里(小五)

とんぼさんならんでなにをしているの 大垣市 加藤 れな(小四)

入道雲 空の王様あらわれた 大垣市 芦野 涼也(小四)

かみなりがなったらきゆうに雨がふる 大垣市 川瀬 唯華(小四)

せみの声耳のおくまできこえるよ 大垣市 横井 咲桜(小四)

きんぎよたちえさをもとめてまっしぐら 大垣市 藤墳 芽吹(小五)

つばめたち口をあけたらえさ入る 大垣市 井上 奈菜未(小五)

まえ買ったふうりん箱から出してみる 大垣市 衣斐 優奈(小五)

ありの道つづくその先えさがある 大垣市 菅野 あいり(小五)

こうえんで遊んでいるとせみがとぶ 大垣市 石田 理歩子(小四)

入選

プールの日いろんなおよぎを發明だ	大垣市	森井 太一(小五)
夏休み計画ばかりですすまない	大垣市	増井 陽向(小五)
なつのうみ思ったよりもなまぬるい	大垣市	原 侑太郎(小四)
たけのこがぐんぐんのびてせをぬかす	大垣市	西 航 世(小四)
せみたちは一週かんで何をすする	大垣市	長谷川 実奈(小五)
小枝から毛虫がどんどんおちてくる	大垣市	大谷 夏鈴(小五)
夏まつり父さん母さん子どもみたい	大垣市	石橋 唯斗(小五)
げたばこの上のきんぎよがほほえんで	大垣市	きたじま あやか(七才)
くさむしり虫がたくさんみつかるよ	大垣市	藤 墳 芽吹(小五)
ひかげでもみんなでいるとあつくなる	大垣市	井上 奈菜未(小五)

入選

てるぼうず晴れる晴れると願ってる	大垣市	竹内 恒太(小五)
親つばめえさをくわえて巢にかえる	大垣市	北島 実香(小四)
ダンゴムシどうしてお前は丸くなる？	大垣市	伊藤 賢心(小四)
願い事かなえてくれる天の川	大垣市	堤 穂乃香(小五)
かみなりがおちるとみんなおおさわぎ	大垣市	松崎 望来(小五)
水遊びゴーグルつけたらあとのこる	大垣市	大河 加梨奈(小四)
せみの声いつもじゅ業のじやまをする	大垣市	近藤 勇之介(小五)
はち植えに水をあげなきやかれそうだ	大垣市	金森 早紀(小五)
弟とみせあえるかなつうしんぼ	大垣市	金森 早紀(小五)
出たくない市民プールの水の中	大垣市	中島 明日香(中一)

選者吟

爽やかや乾杯一度二度三度

拓郎